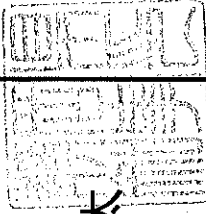


文部科学大臣 様

教 財 第 385 号 一 1  
平 成 28 年 3 月 10 日

静岡県知事 川勝 平太



施設整備計画の事後評価について

学校施設環境改善交付金交付要綱第8の1に基づき、施設整備計画における事後評価の結果を報告します。

施設整備計画 事後評価シート(総括票)

※この総括票については、計画年度終了時点における施設整備計画(計画を変更しているものについては、最終変更後の計画)に基づいた事後評価の結果を記入すること  
また、その評価を行った施設整備計画を添付すること。

公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する目標の達成状況について

①地震、津波等の災害に備えるための整備

【達成状況】

○計画どおり実施できた。
○計画したが、一部実施できなかった。
○計画したが、すべて実施できなかった。

(耐震化率の目標に対する達成状況)

学校区分	耐震化率(%)	
	目標	達成状況
小学校	-	-
中学校	100	100
高等学校	100	100
特別支援学校	100	100
幼稚園	-	-

【所見】

(浜松視覚特別支援学校)  
立入禁止区域としていた中庭がまた児童の遊戯場として使用できるようになり、また、建物外壁のモルタル等の落下防止がなされ、特に生徒昇降所の壁面が改修されたことにより、児童生徒が安全に避難できるようになった。学校評議員から「外壁の落下防止対策ができたことはすばらしいことである。」との意見があった。

(静岡聴覚特別支援学校)  
通学経路としていた道路が外壁落下危険区域だったため、通行禁止としていたが、整備後安全が確保でき通行できるようになった(遠回りしていかないとが解消された)。PTA役員から「整備を実施し、学校の防災強化を図っていくことは、鞆の立場からすれば安心感につながる。地域防災の観点からも信頼・運営を深めていける。」との意見があった。

(静岡聴覚特別支援学校)  
外壁の落下により児童・生徒が負傷する不安が減少した。PTA役員から「防災のために工事をしてもらい、子供たちの安全対策の向上につながってよかった。」との意見があった。

(沼津聴覚特別支援学校)  
校舎は老朽化が目立ってきており、外壁補修を実施したことは、聴覚に障害を持つ児童生徒にとって安全な学校生活を保証するうえで有効であった。寄宿舍については入舎生が1日のすべての時間を「学校」と「寄宿舍」で過ごすため、施設強化を実施したことは保護者に対して大きな安心感を与えた。自治会長等から「本校は当地区の避難所となっており、外壁補修はありがたい。」等の意見があった。

(浜松聴覚特別支援学校)  
外壁の亀裂が埋まり、外壁落下の危険が減少した。保護者から「今回の対象棟以外もさらなる対策工事をお願いしたい。」趣旨の意見があった。

(富士特別支援学校)  
目立ちにくい工事箇所であるため、生徒に対する防災上の効果もあつたが、PTA役員から、「大事故を未然に防ぐために小さなところから着手したという点で、生徒に対する防災上の効果があつたと思われ。」等の意見があつた。

(藤枝特別支援学校)  
窓のひさし部分における落下の危険がなくなくなり、学校敷地内における職員・生徒の安全な通行が確保された。また、福祉避難所になっているため、大規模災害が発生した際に、安心して防災拠点としての役割を果たすことができる。PTA会長から「ここ数年、全国各地で老朽化した建物の外壁やタイルの落下事故が相次いでおり、本校においても事故の発生を危惧していたが、今回の工事で、その解消ができ、安心して子どもを学校に送り出すことができる。」との意見があつた。

(東部特別支援学校)  
外壁等の落下の危険性が除去され、防災上大きな効果があつた。PTA会長から「学校生活に支障が出ないよう、工事が実施されていた。事業実施により防災機能が強化され、児童生徒の安全性が高まった。」等の意見があつた。

(中央特別支援学校)  
寄宿舍の外壁落下の危険がなくなつたので、安心してペランダ等を通行することができている。体育館についても、安心して授業や学校行事を行うことができている。PTA会長から「外壁が明るく美しくなることで外観の印象が変わり、訪れる地域の方々のもつ印象も変わった。「訪れやすく」「来やすく」なつた。地域との連携という観点からも、大きな防災強化の力となる。」との意見があつた。

②防犯対策など安全性の確保を図る整備

【達成状況】

計画どおり実施できた。
計画したが、一部実施できなかった。
計画したが、すべて実施できなかった。

【所見】

--

③教育環境の質的な向上を図る整備

【達成状況】

計画どおり実施できた。
計画したが、一部実施できなかった。
計画したが、すべて実施できなかった。

【所見】

--



(沼津工業高校)  
自動設計製図装置：工業基礎(1年6単位)・実習(2年2単位、3年2単位)・課題研究(3年3単位)において、建築CADの実技で活用している。企業でも広く使われている3DCADソフトもインストールされ実践的な能力を身に付けることができている。「建築科では、設計製図にはかなりの時間を充当している。ドットペンを活用し図面作成の基本を学んだ後は、CADで図面を作成する。作成した図面から立面図を求めることができ、制作時間が短縮できた上に、実際の建物がイメージできるために導入効果は大きい。」と学校評議員から意見があった。

(沼津商業高校)  
情報基礎実習装置：商業科の授業を中心に使用されており、「センターモニターが設置されているため、スクリーンに投影された教材が見えにくいといったプロジェクトターが持つ問題点が解消されている。生徒も間近に教材を見ることができるので集中して授業に臨んでいる。」と教員から意見があった。また、「情報社会に対応していくためにも、最新のパソコン機器を使って授業が展開できることは大変良い。情報の知識・技術の習得に効果的である。」と学校評議員から意見があった。

(古原工業高校)  
工作機械：最新鋭の数値制御による工作機械が導入されたことにより、この設備を活用した授業が積極的に行われるようになった。これまでの設備では、設計は設計、加工は加工と、単独でしか授業を行えなかったが、導入後電子データを設計から加工まで引き継いで利用できるようになり、その結果、科目と科目がリンクケージされ、授業の進め方や実習を工夫して行えるようになった。一方、教わる側の生徒は、自分で製図した3次元図面が、「もの」としてアウトプットされるようになり、授業(ものづくり)に対してこれまで以上に高い興味を示すようになった。

学校評議員から、「新しい機械を導入したことにより、これまでは基礎的な加工技術だけであったものが、高度な加工技術まで幅広く学べるようになり素晴らしい。生徒には、しっかりと技術を身に付けてもらい、就職先企業でその能力を発揮してもらいたい。」との意見があった。

(島田工業高校)  
自動設計製図装置：2・3年生の製図の授業に使用し、2D・3DのCADを行っている。以前使用していた機器は老朽化のため不安定であったが、今回の機器導入によって、効率よく授業を行うことができるようになった。学校評議員から「新しい機器が導入されたので、大いに活用してほしい。」という意見があった。

(袋井商業高校)  
情報基礎実習装置：2年生ビジネス情報(情報処理検定2級)、2・3年プログラミング(Java)等の授業、放課後の日本語ワープロ部の活動で利用しており、「より実践的な授業展開が可能となった。」「以前と比べて、大きな画面で見やすく、生徒の学習意欲の一層の向上にも役立っている。」「センターモニターから、教師画面を生徒側に映し出すことができると、生徒は操作しなから学習することができ、生徒の理解が深まった。」という意見が教員からあった。学校評議員からは「商業高校において、実践教育の充実のために、最新のOS等、先端技術を導入することは大変なことである。新しいものを導入していかないと、生徒たちが社会に出てから困る。施設環境整備の学習効果は大きいので、今後ともぜひ進めてほしい。」という意見があった。

(浜松工業高校)  
自動設計製図装置：製図、実習、課題研究での利用が非常に多くなり、放課後も多くの生徒(部活動、課題研究)が利用し、CADの操作を習得できている。また技能検定CAD製図に挑戦する生徒も増えている。「パソコン、CADソフトが更新されCAD実習の取り組みが向上した。」等の学校評議員からの意見があった。

(浜松大平台高校)  
情報応用実習装置：3年生の「課題研究」の授業において、3Dプリンタを利用して立体を作成し、生徒の興味を持たせる授業展開ができている。2年生の「デザイン技術」の授業において、ロゴデザインをカッタープリンターで出力し、今までできなかった授業展開ができるようになった。「産業界からも注目される3Dプリンターを活用し、ITリテラシーとCAD能力の習得に効果が上がっている。」との学校評議員からの意見があった。

2 事後評価の時期及び方法について

各学校において、学校評議員会、PTA役員会等を開き事後評価を行った。

3 事後評価の総合所見及び今後の施設整備計画への反映等について

施設整備計画に計上していた事業について、計画どおり実施でき、学校評議員やPTA等から効果があるとの評価を受けている。今後も長期的なスパンで事業効果が期待できる施設整備を進めていく。

# 施設整備計画 事後評価シート(個別票)

都道府県名	静岡県
市町村名	

1 計画名称 静岡県公立学校等施設整備計画

2 計画作成主体 静岡県

3 計画期間 平成25年度～平成26年度

4 個別事業一覧

※この個別票については、計画の変更に伴い取り下げた事業も含めて、施設整備計画に計上したことのある全ての事業を計上すること。

学校名	整備区分	事業番号	事業名	建物区分	構造区分	事業実施の有無	(事業を実施した場合)竣工年月日	(事業を実施しなかった場合)実施できなかった理由及び今後の方針	施設整備計画の変更		備考
									事由	変更年月日	
(仮称)浜松聴覚特別支援学校	①	2201	防災機能強化	校		○	平成27年1月14日	事業要件に該当しなくなったため。			
(仮称)浜松聴覚特別支援学校	①	2201	防災機能強化	校		○	平成27年2月27日				
(仮称)静岡聴覚特別支援学校	①	2201	防災機能強化	校		○	平成27年2月20日				
(仮称)静岡聴覚特別支援学校	①	2201	防災機能強化	校		○	平成27年2月26日				
(仮称)沼津聴覚特別支援学校	①	2201	防災機能強化	校		○	平成27年2月26日				
(仮称)沼津聴覚特別支援学校	①	2201	防災機能強化	校		○	平成27年3月10日				
(仮称)富士特別支援学校	①	2201	防災機能強化	校		○	平成27年3月9日				
(仮称)静岡北特別支援学校	①	2201	防災機能強化	校		○					
(仮称)静岡北特別支援学校	①	2201	防災機能強化	校		○					
(仮称)藤枝特別支援学校	①	2201	防災機能強化	校		○	平成27年2月27日				
(仮称)東部特別支援学校	①	2201	防災機能強化	校		○	平成27年3月11日				
(仮称)中央特別支援学校	①	2201	防災機能強化	校		○	平成27年1月22日				
(仮称)中央特別支援学校	①	2201	防災機能強化	校		○	平成27年1月22日				
(仮称)西部特別支援学校	①	2201	防災機能強化	校		○					
(仮称)西部特別支援学校	①	2201	防災機能強化	校		○					
(仮称)引込地区新構想高等学校	④	1101	一般施設		S	○	平成27年1月23日				
天竜高等学校	④	1101	一般施設		S	○	平成26年3月7日				
清流高等学校	④	1101	一般施設		S	○	平成26年3月20日				
天竜高等学校	④	1106	特別装置			○	平成26年3月27日				
伊東商業高等学校	④	1106	特別装置			○	平成26年2月7日				
沼津工業高等学校	④	1106	特別装置			○	平成26年2月28日				
沼津商業高等学校	④	1106	特別装置			○	平成26年2月17日				
吉原工業高等学校	④	1106	特別装置			○	平成26年3月31日				
島田工業高等学校	④	1106	特別装置			○	平成26年3月20日				
袋井商業高等学校	④	1106	特別装置			○	平成26年3月25日				
浜松工業高等学校	④	1106	特別装置			○	平成26年2月20日				
浜松大平台高等学校	④	1106	特別装置			○	平成26年3月27日				